



4月知事定例記者会見

令和7年4月25日（金）





《記者発表》

**政策立案型行政の深化に向けた
取り組みについて**

■ 政策立案型行政の深化に向けた取り組み

① えひめ版政策エコシステムの構築

政策立案のステージを部局内から部局横断型へとステップアップ

➡ 更なる深化を目指し、新たな官民共創による政策エコシステムの構築に向け、広く議論する共創の場としてのプラットフォームを設置

● 企画段階から“協働”に挑戦

② 若手オフサイトチームの取り組み

職員の政策立案能力の養成と実行力の向上を図るため、庁内公募により、若手オフサイトチームを設置

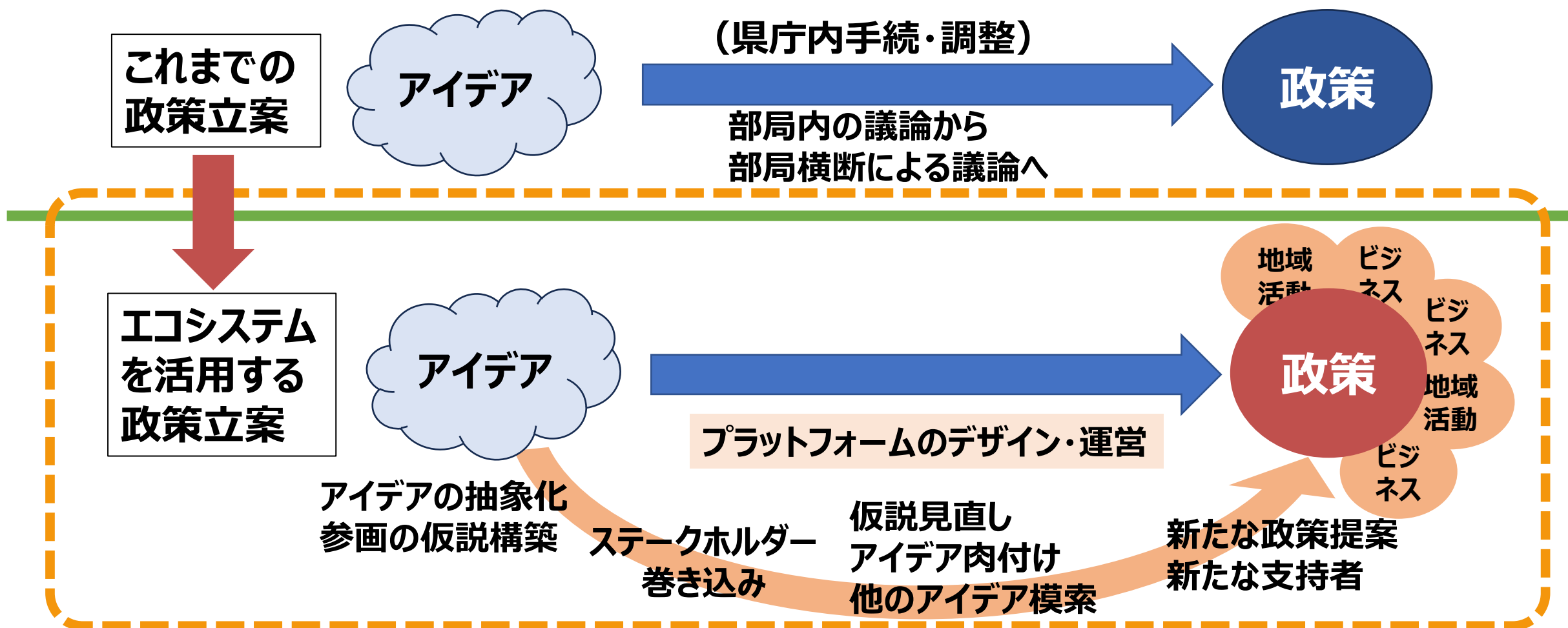
➡ 基礎的な業務知識や政策立案等の手法を紹介するハンドブックを作成

● 研修等を通じ政策立案に対して前向きに取り組む職員を養成

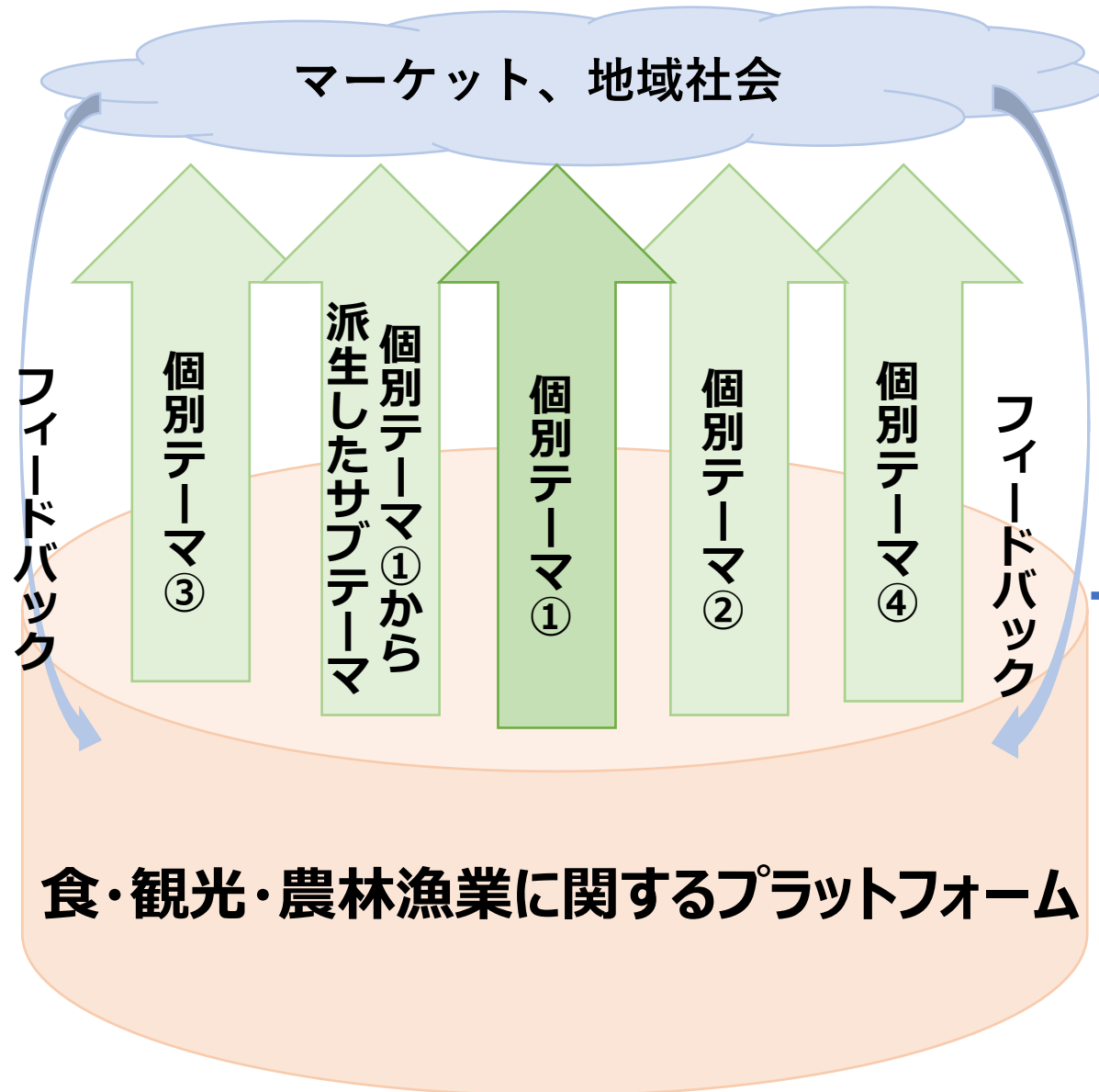
■ 政策エコシステムを活用した政策立案

えひめ版政策エコシステムとは

「県、市町村、民間企業、市民団体、学術機関等の多様な主体が企画段階から連携・協働することによって、政策プロセスにおいて持続的に新たな価値を創造し、戦略的な政策立案・推進につなげる仕組み」と定義（政策エコシステムは、民間企業の立場で見れば、ビジネスエコシステム）



■ 政策エコシステム（プラットフォーム）のイメージ



「具体的な議論を深める場」

アクションラボ／第2層

～新しい政策・ビジネス・地域活動等に向け、
安心して議論できる場を確保～

- 第1層参加者のニーズ等を踏まえて、活動テーマを提示（一定数以上の参加者が主体的な活動テーマを提案できる途も確保）
- テーマに応じて、場の運営ルール（参加者の秘密保持、知的財産の保護など）を提示。
- 個別テーマ、ルールに賛同した第1層参加者が手上げ方式で参加
- 新たな政策やビジネス創出を具体的に検討する場

「広く議論する共創の場」

プラットフォーム／第1層

～アイデア創出のため、
開放的・協調的なカルチャー醸成～

- 趣旨に賛同した関係者が手上げ方式で参加
- 対等な立場で自由に情報共有、意見交換等を行う場
- 自由な交流の中から、新たなビジネス、政策等の機会・課題を抽出し、第2層のテーマにつなげる
- 透明性を確保するため、活動概要は広く公表（議事概要は匿名）

■ えひめ食・観光・農林漁業プラットフォームの参加者募集

食・観光・農林漁業の分野に関する地域課題の解決を図るため、新しいビジネスや地域活動及びこれらを支える政策を創り上げる官民共創の場として「えひめ食・観光・農林漁業プラットフォーム」を設置し、参加者を募集します。

募集期間 本日より随時募集 県HP内の加入表明フォームよりエントリーしてください。

募集対象 「こんな地域にしたい」「こんなことができたら面白い」という思いを持ち、企画段階から自由な発想やアイデアのもと、官民共創で愛媛オリジナルの新しいビジネスや地域活動と、それらを支える政策の創出にチャレンジしたい企業、団体又は個人

活動内容

- ①参加者の情報共有、連携強化、学習のための活動
- ②新たな政策やビジネスなどの創出に向けた活動
- ③情報発信その他必要な活動 等

設置ルール プラットフォームを「アイデア創出のため、開放的・協調的なカルチャーを醸成する場」と位置付け、参加者が集まりやすい魅力的な企画づくりや勉強会、ワークショップなどを開催することとしております。

■ キックオフミーティングの開催

参加者間の相互理解を促すとともに、建設的な意見交換を体験してもらうためキックオフミーティングを開催します。

開催日時 令和7年7月4日（金） 13時30分～17時（予定）

開催場所 県民文化会館「真珠の間」

概要(案) **第1部 参加者の相互理解に向けた交流**

リラックスした雰囲気の中で、参加者が、食・観光・農林漁業分野でやってみたいことについて自由に対話を行います。

第2部 アイデア出しのためのワークショップ

多くの参加者が当事者意識を持てる個別テーマを設定し、その個別テーマに則した新たなビジネス、地域活動、それらを支える政策の創出のため、参加者が主体的にどのような貢献が可能かアイデア出しするワークショップを行います。

申込方法 プラットフォームエントリー完了後の画面もしくはメールから、参加申込みが可能です。

■ 若手オフサイトチームの取組み



主な内容

- 庁内向けシステムの使い方
 - 仕事の進め方（決裁等の受け方）
 - 公文書の書き方
 - 電話・メールの基本
 - 働き方（休暇制度等）
 - 業務効率化のテクニック
 - 予算と議会の仕組み
 - 政策立案のポイント
 - 県庁用語集
- など

ハンドブックを活用し「入庁 1 年目に教えてもらいたかったこと」をテーマに、職員研修を実施